

## 1. 8 福井県立恐竜博物館・野外恐竜博物館の見学（社会分野）

### (1) 研究開発の課題（研究概要）

恐竜をテーマにすることで身近な自然に目を向けさせ、恐竜と人間の関わりに関して興味を持たせる。1億2千万年前から発掘された岩石の中から化石を探す体験をすることによって「科学リテラシー」を促すことができる。

### (2) 研究開発の経緯

例年第1次産業（農場）・第2次産業（工場）・歴史的建造物・町並みを対象として見学場所を設定していたが、福井県立恐竜博物館に屋外見学場所において化石発掘体験が実施できることを知って、本年度新たな見学場所でワークショップを実施した。

### (3) 研究開発の内容

#### ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は科学への関心や批判的思考力などの「科学リテラシー」を促すことができる。

#### イ 研究の内容・方法

該当教科 地歴・公民科

対象生徒 1・2年希望者 32名

日時場所 10月19日（日）福井県立恐竜博物館  
野外恐竜博物館

#### 実施内容

見学 「恐竜の生きた世界」

目的 恐竜博物館の見学を通じて生物の進化過程を理解し生物の一種としての人類の生き方を考えさせる。

内容 博物館施設自由見学

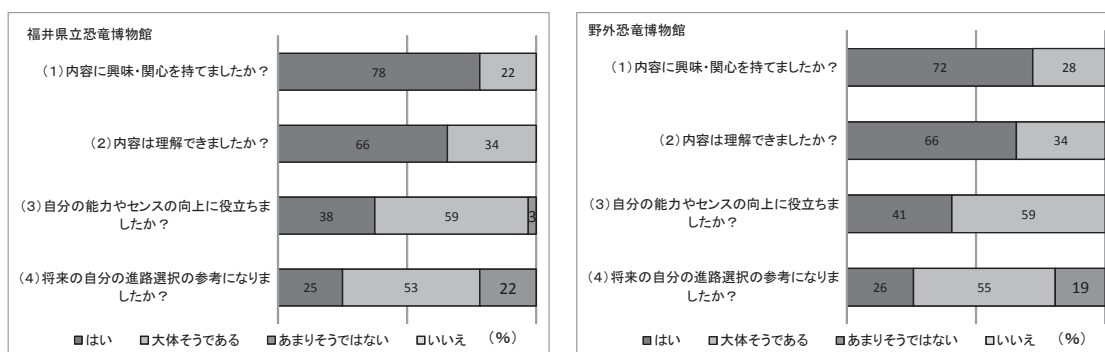
野外恐竜博物館化石発掘体験

学芸員による発掘現場概要説明



化石発掘体験の様子

#### ウ 検証（成果と反省）



#### 生徒の感想から

- ・生命の誕生から現代までの生物の進化の過程がよくまとまっていた。
- ・1億2000万年前の地層をみることでよかった。
- ・化石発掘体験ができてとても楽しかった。

博物館の恐竜展示見学・化石発掘体験を通じて人類の過去・現在・未来を考える契機となった。文系志望の参加生徒が多かったにもかかわらず、将来の進路選択の参考に役立ったとアンケートに答えた生徒が多数いた。理系の生徒は古生物学に興味・関心を高めていた。恐竜という対象物は大人も子どもも興味を持てる対象物である。